愛知民報

2019年
7月28日
第2455号

発行所 愛知民報社
〒460-0007　名古屋市中区新栄三丁目12番25号
愛知あかつき会館内
☎(052)251-2925 FAX(052)261-6063
定価 月400円 郵送料164円　1部100円
毎週日曜日発行（第5日曜日は休刊）
1966年7月31日第三種郵便物認可

週刊

愛知民報を
周りの人に

第25回参議院選挙

改憲勢力3分の2阻止

東海・北陸信越 1人区 長野・新潟で野党統一勝利

共産党比例代表 井上さとし 参院国対委員長 4選

21日投開票の第25回参議院選挙（改選総数124）で、日本共産党は比例代表で4議席、選挙区で3議席を獲得し、非改選と合わせて参議院の議席数は13となりました。

愛知を含む東海・北陸信越・京都の10県を活動地域とした井上さとし参院国対委員長は4回目の当選を果たしました。愛知選挙区では、すやま初美候補が奮闘しましたが、及びませんでした。

全国32の1人区の野党統一候補は10選挙区で勝利し、改選2議席から躍進しました。

一方、自民党は9議席減らし、単独過半数を失いました。自民・公明・維新などの改憲勢力は、改憲発議に必要な3分の2の議席を維持できませんでした。

投開票日の翌朝、通勤客に当選の報告をする（左から）井上さとし参院議員、本村伸子衆院議員＝22日、名古屋市・金山総合駅前

記者座談会

今回の参院選の結果について本紙記者が語り合いました。

改憲〝待った〟

A　22日、日本共産党中央委員会の常任幹部会が参院選結果について声明を出し、「全体の結果できわめて重要なのは、自民・公明・維新などの改憲勢力が、改憲発議に必要な3分の2を割ったこと」と強調している。

B　同感だ。選挙結果を大きくつかむことが大事だ。選挙中に安倍首相は名古屋駅前の自民党街頭演説で、政党選択の基準としてまず強調したのは改憲論議の土俵に乗るかどうかだった。改憲勢力が衆参3分の2を確保することが改憲発議の条件だが、参議院でそれが崩れた。国民が安倍改憲に〝待った〟をかけた。

C　一般紙も「改憲勢力3分の2割れ」の大見出しをつけた。

共闘の役割

A　改憲勢力の3分の2を阻止するうえで、野党共闘が決定的な役割を果たした。

B　「中日」22日付は「安倍政権が進める改憲に反対する野党4党は、改憲勢力による3分の2以上の議席維持も阻んだ」と指摘した。

C　市民連合と5野党・会派が、安倍9条改憲に反対し「改憲発議そのものをさせないために全力を尽くす」と合意したことが力を発揮しているね。

展望ひらく

A　その野党共闘だが、野党統一候補が10の1人区で勝利して、改選2議席から10議席に躍進した。

B　共産党の井上さとし比例候補の活動地域では、長野県と新潟県で野党統一候補が自民党候補を破って勝利した。福井県の共産党公認で野党統一の山田和雄候補は議席には及ばなかったが、共産党の比例得票率の4倍にあたる26・2%を得た。

A　井上さんは野党統一候補と比例・共産党への支持を訴えて駆け回った。

C　共闘効果は、大きい。野党統一候補の得票は、共闘した野党の総比例票を上回っている。市民と野党の共闘に、安倍政権を倒し、新しい政治をつくる希望と展望があることはまちがいない。

【次号に続く】

2019年参院比例

井上さとし比例候補の活動地域

	得票数	得票率
京　都	167,302	17.50%
愛　知	222,046	7.75%
三　重	45,660	6.09%
岐　阜	62,571	7.54%
静　岡	120,758	8.05%
長　野	101,579	11.09%
新　潟	67,342	6.70%
富　山	22,983	5.72%
石　川	23,190	5.37%
福　井	19,015	6.38%
計	852,436	8.22%

公約実現に全力 すやま愛知選挙区候補

選挙結果が判明し、支援者にあいさつする、すやま初美愛知選挙区候補＝21日夜、名古屋市

愛知選挙区（改選数4、立候補12）をたたかった、すやま初美候補は21万6674票（得票率7・56%）を獲得しましたが、及びませんでした。

すやまさんは22日朝、井上さとし参院議員とともに金山駅前に立ち、「減らない年金や『くらしに希望を』の提案、消費税に頼らない生活応援の財源づくり、憲法9条を生かす平和外交などの公約実現に全力を尽くす」と決意を語りました。